

「会社員にとって定年とは？」の問いに対し、「仕事と人間関係とスケジュールが一気になくなる日である」とシンプルに答えているのは、「定年後 50 歳からの生き方、終わり方」の著者、楠木新（くすのき あらた）氏です。楠木氏は、多くの定年退職者取材し、「毎日やることなく困っている」「一番自由な今が一番しんどい」「居場所がない」という本音を聞き出しました。そして、「定年退職者に共通しているのは、孤独だということ。彼らが本当に求めているのは、人とのつながり、居場所なのだ」と言っています。

私は、ドキッとさせられました。子どもの居場所については、いろいろと話題にされているけれども、子どもだけではなく、大人にとっても居場所が求められているのだということを知ったからです。

先月、青少年育成アドバイザーで、水沢子どもの居場所実行委員会代表の大村千恵（おおむら ちえ）氏を、当センターの研修会に講師としてお招きし、「声にならない心の叫びに耳を傾けて～ホワイトキャンパスという居場所の意味～」と題してご講義いただきました。その中で、大村氏の「居場所は、場所ではない」という言葉が、印象に残っています。子どもたちの求める居場所も大人たちの求める居場所も、結局は、人とのつながりであり、心の居場所なのだなと思いました。

先日、山田町ふれあいセンター「はびね」に行く機会を得ました。「はびね」という名称は、子どもたちの思いがギュッと詰まった名称です。子どもたちは、自分たちだけの居場所ではなく、地域みんなの居場所を…みんながしあわせに感じられる居場所を…と考え、大人達がそれを実現する形となりました。授乳室を設置するという案が、子どもから出されたというから驚きです。

図書館と融合したこの施設は、船をモチーフにした丸い窓や、ちょっと秘密基地めいた部屋、絵を描ける窓ガラスなど、子どもたちの思いが溢れる素敵な空間でした。実際に、私が訪れたその日、小中高生はもちろんのこと、おばあさんや赤ちゃん連れのお母さんまでもが同じ空間の中にいました。

子どもたちの声を吸い上げることで、世代を超えたみんなの居場所が形となったのでしよう。これは新たな居場所のあり方を示す施設だと感じて、私はとてもワクワクさせられました。子どもたちの発想も素晴らしいですが、それに耳を傾け、みんなの心がしあわせになれるように尽力された地域の方々も素敵だと感じました。

「人とのつながり」は、きっかけが必要です。私たち大人も地域に根を張り、ネットワークを広く持つことが、自分の居場所を作ることになり、それが定年後にも、豊かに生きることにつながるのではないかなと思いました。

おかげさまで、「すこやかメールマガジン」読者は、1000人を突破しました！とてもうれしく思います。これからも、「すこやかメールマガジン」をどうぞよろしくお願いいたします。【A】

○メルマガで取り上げて欲しい内容やご感想など、下記アドレスにお寄せいただければ嬉しく思います。(アドレス登録又は配信停止もこちらからどうぞ(^_^))

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

○メルマガのバックナンバーを当センターHPで閲覧することができます。

アドレスはこちら

「まなびネットいわて」(<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>) > 「発行物・刊行物」
> すこやかメルマガ

○「すこやかメール相談」このアドレスに返信することで子育てに関わる相談が受けられます。乳児から小中学校での困り事などお気軽にご相談ください。

mailto:kosodatem@pref.iwate.jp

【転送からの登録手順】

「このメルマガを友人・知人に転送する」→「受け取った方が登録用アドレスを確認する」
→「『メルマガ配信希望』と入力し送信する」→「配信登録完了！」(次回から直接、メルマガを受信することができます)

【紹介からの登録手順】

アドレス kosodatem@pref.iwate.jp をご紹介していただき、「配信希望」とメールすれば登録できることをお伝え願います。

これからも、どうぞよろしくお願いいたします(^_^)/

【発行】

岩手県立生涯学習推進センター

025-0301 花巻市北湯口 2-82-13

TEL 0198-27-4555

URL:<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/> 「まなびネットいわて」で検索